

# 学校保健の取組

## 令和8年度 学校保健安全計画

月	保健目標	保健行事	保健指導	保健管理	環境管理 ☆学校薬剤師
4	体の様子を知ろう	定期健康診断 ・発育測定 ・腎臓検診 ・内科検診 ・歯科検診 ・眼科検診 ・モアレ ・視力検査 ・耳鼻科検診 ・聴力検査 ・心臓検診	・健康診断の意義と受け方  ・治療勧告 ・歯みがき(毎週1回)開始 ・フッ化物洗口開始(1年生:5月頃~実施)	保健資料の確認 アレルギー(エビベン)研修会 要配慮児童の周知 緊急連絡体制の確認 疾病異常の治療勧告と回収	薬品の点検 嘔吐時対応物品の確認 飲料水、雑用水の検査(日常)
5	健康な体にしよう		・歯みがき指導		☆飲料水検査
6	歯を大切にしよう		心肺蘇生法研修会 配慮児童の把握周知		殺虫消毒
7	暑さに負けない体にしよう	・わかば宿泊検診 ・日光前健康調査 ・学校保健委員会		夏季水泳指導における配慮児童の把握・周知 歯科治療勧告用紙再配布 アレルギーシミュレーション研修会	☆ホルムアルデヒド検査 ☆ダニ・アレルゲン検査
9	生活のリズムを整えよう	・発育測定 ・日光事前検診	・測定時保健指導		☆給食室検査
10	目を大切にしよう	・視力検査 ・就学時健康診断		視力低下児童への治療勧告	☆飲料水検査
11	姿勢を正しくしよう	・色覚検査	・歯科校医による 歯科指導(3年生)		☆照度・騒音検査
12	寒さに負けない体づくりをしよう	・ウインター前健康調査		感染症児童の把握と対応策	
1	うがい・手洗いをしよう	・発育測定	・測定時保健指導	薬物乱用防止教室	☆空気検査
2	心の調子に気付き、大切にしよう	・ウインター事前検診	・ウインター前保健指導	次年度準備	
3	健康生活の反省をしよう			次年度準備	各学級の救急バッグ等の点検

※年間を通して、都度学年と相談し、保健学習に参画

# 学校保健の取組

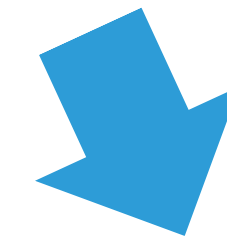
フッ化物洗口  
歯みがき

毎週木曜日  
給食後





## 歯みがきの取組を毎日へ！



様々な課題が…

- ・ 水道の数（3年生以上は学年に1つ）
- ・ 歯ブラシの衛星管理
- ・ 時間の確保
- ・ 安全面への配慮

# 学校保健の取組

学校歯科医の  
歯科指導



よい歯の表彰



保護者様  
江戸川区立 松江小 学校 (園) 長  
〈歯科〉健康診断結果のお知らせ

このたびの健康診断の結果、お子さんには下記の○印についての注意、または疾病異常の疑いがありましたのでお知らせします。

A 今のところ治療の必要はありませんが、下記の○印のことについて注意がありましたので、気をつけてください。(報告書提出の必要はありません)

該当○印	注意事項	説明	説明
1	要観察歯 (C0)	むし歯の一手前の状態の歯があります。ていねいに歯をみがきましょう。	
2	歯列・咬合・顎関節軽度異常	歯ならびの状態・かみ合わせの状態に軽度の異常があり、定期的な観察が必要です。	
3	歯垢付着	歯の表面に細菌のかたまりであるプラーク (歯垢) が多少付着しています。ていねいに歯をみがきましょう。	
4	歯肉軽度炎症 (G0)	歯肉に軽度の炎症があり、定期的な観察が必要です。ていねいに歯みがきをすることで消失すると思われます。	
5	その他		

B 下記○印は疾病異常の疑いがありますので、なるべく早く専門医にみてもらい、治療報告書を学校へお出しください。

該当○印	病名	説明	説明
1	う歯 (むし歯) 永久歯 乳歯	むし歯は一度かかると、専門医の治療を受けない限り、絶対になおらない病気です。適切な治療を受けて、なおったら再発しないように食後はていねいに歯をみがきましょう。	
2	要注意乳歯	乳歯 (子どもの歯) から永久歯 (大人の歯) にはえかわる時期に、永久歯の出る場所はまだ乳歯が残っていると、永久歯が出るのにじまになり歯ならびが悪くなる場合があります。	
3	歯列・咬合・顎関節の異常	歯ならびの悪いもの、かみ合わせの悪いもの等があります。専門医にご相談ください。すでに受診済の場合や、ご家庭で経過観察中の場合はその旨ご連絡ください。	
4	歯垢付着 (歯石)	歯垢をそのまま放っておくと硬く変質し、歯の表面に付いてしまいます。それが歯石です。歯垢や歯石が付いていると歯周病の原因になりますので、早めに専門医で除去してもらいましょう。	
5	歯肉炎症	歯をとりまいている (歯ぐき) が炎症をおこす病気です。歯のよごれや歯石の刺激、また全身の病気の影響や歯ブラシの使い方が適切でないとき等におこりやすい病気です。歯肉が赤くはれて痛み、化膿してうみが出る場合があります。	
6	その他		

治療報告書

治療勧告  
再配布



はみがき  
カレンダー

# 学校保健の取組

## 保健指導



## 教科「保健」

R7年度

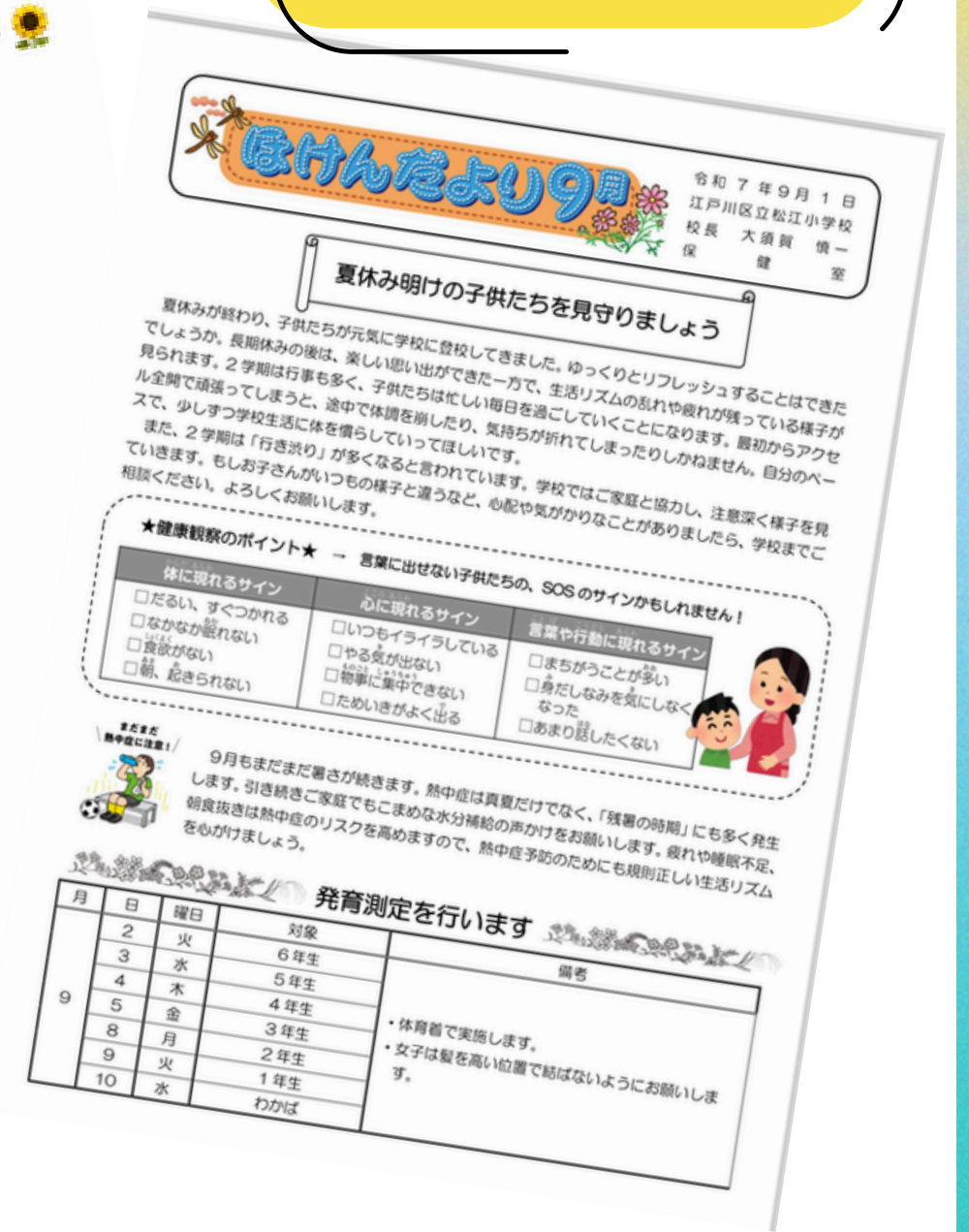
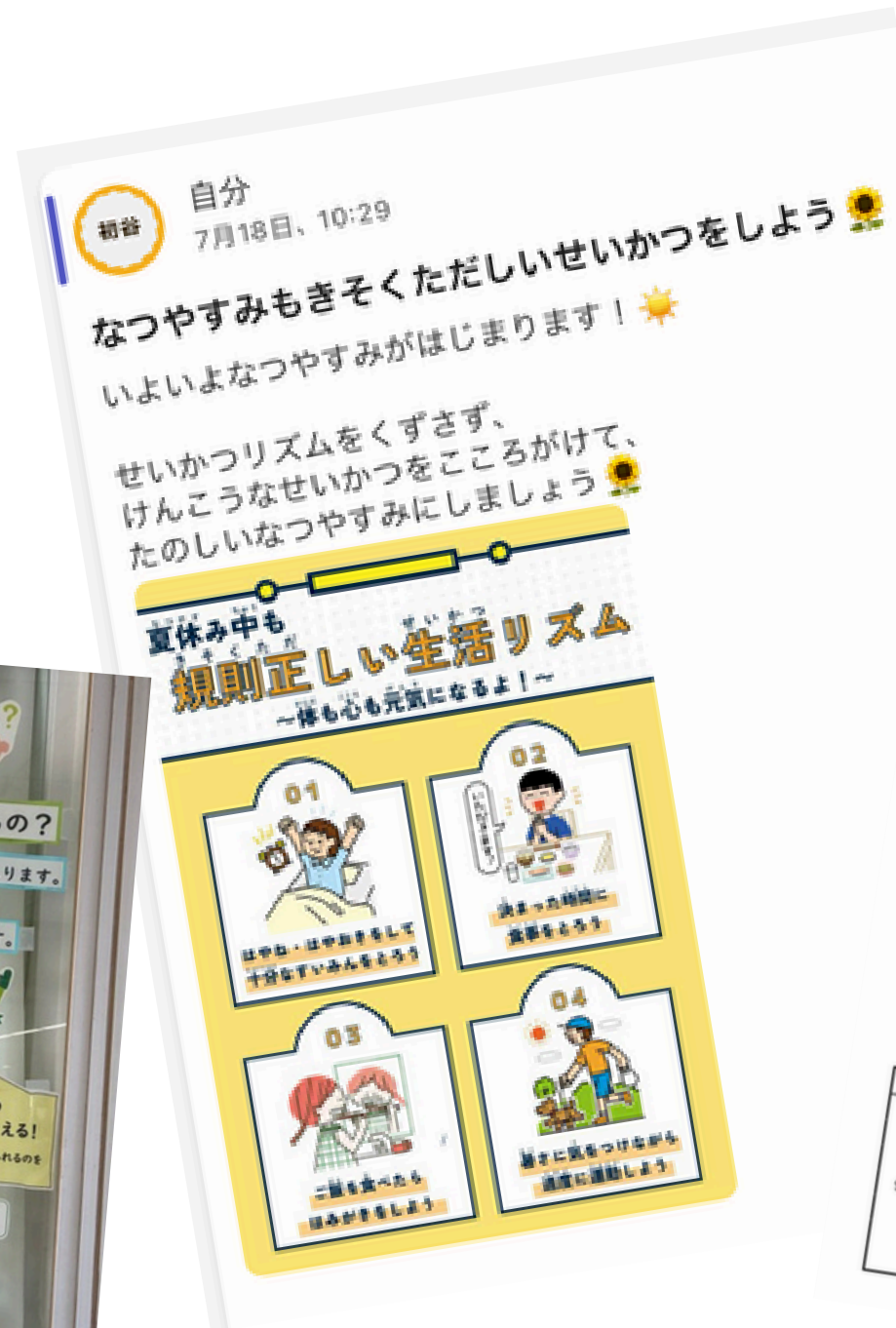
- ・ 睡眠とブルーライト
- ・ リフレージング
  
- ・ 3年「健康な生活」
- ・ 4年「体の発育発達」  
(二次性徴)
- ・ 5年「けがの手当」



# 掲示物

# 学校保健の取組

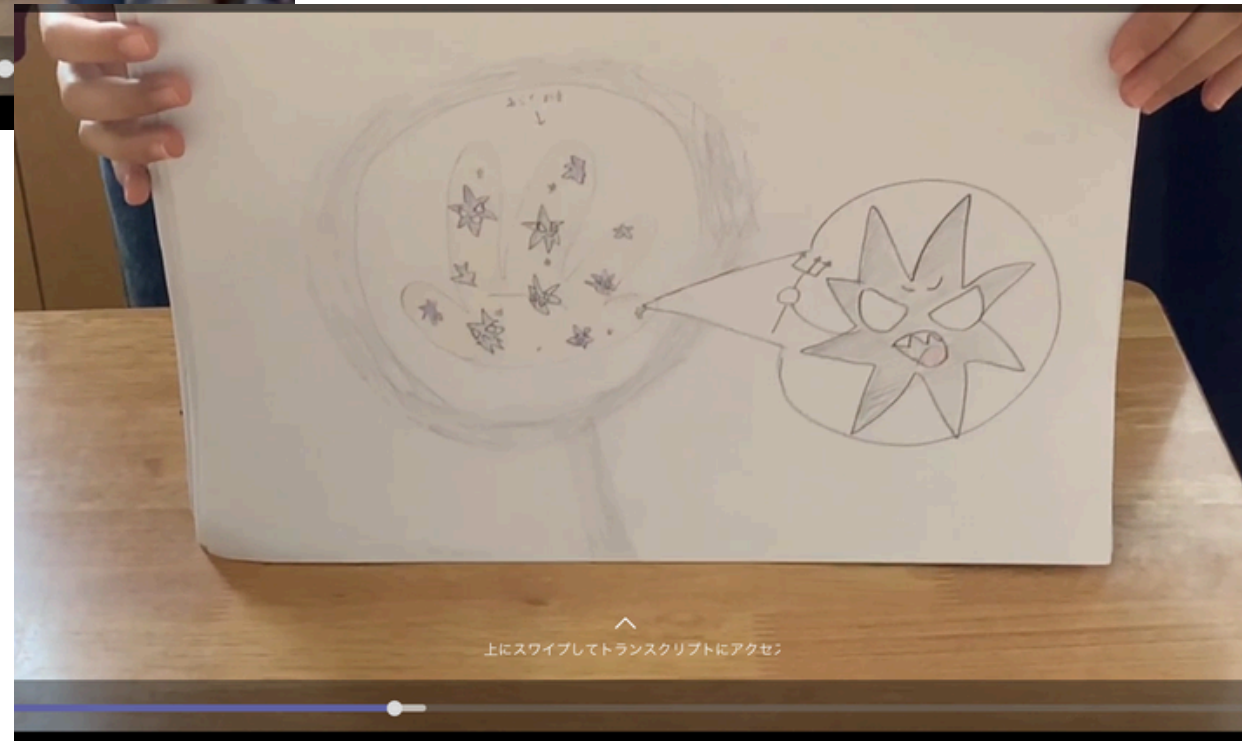
# ほけんだより



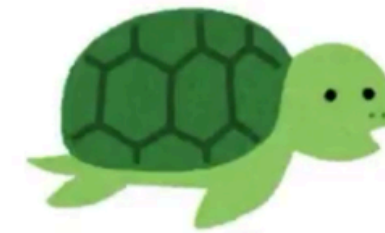
# 学校保健の取組



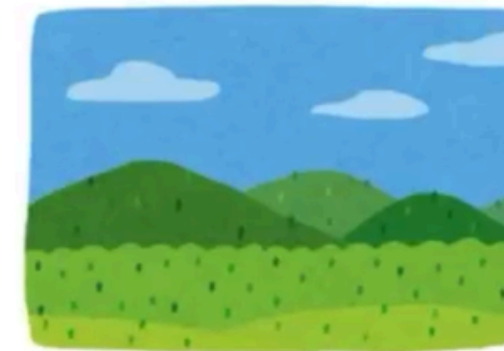
## 保健委員会 活動



かめさん かめさん かめさん かめさん



あの三角のお山の上で



上にスワイプしてトランスクリプトにアクセス

# 学校保健の取組

## 熱中症 対策

R7年度  
熱中症による来室  
→ **約30名**



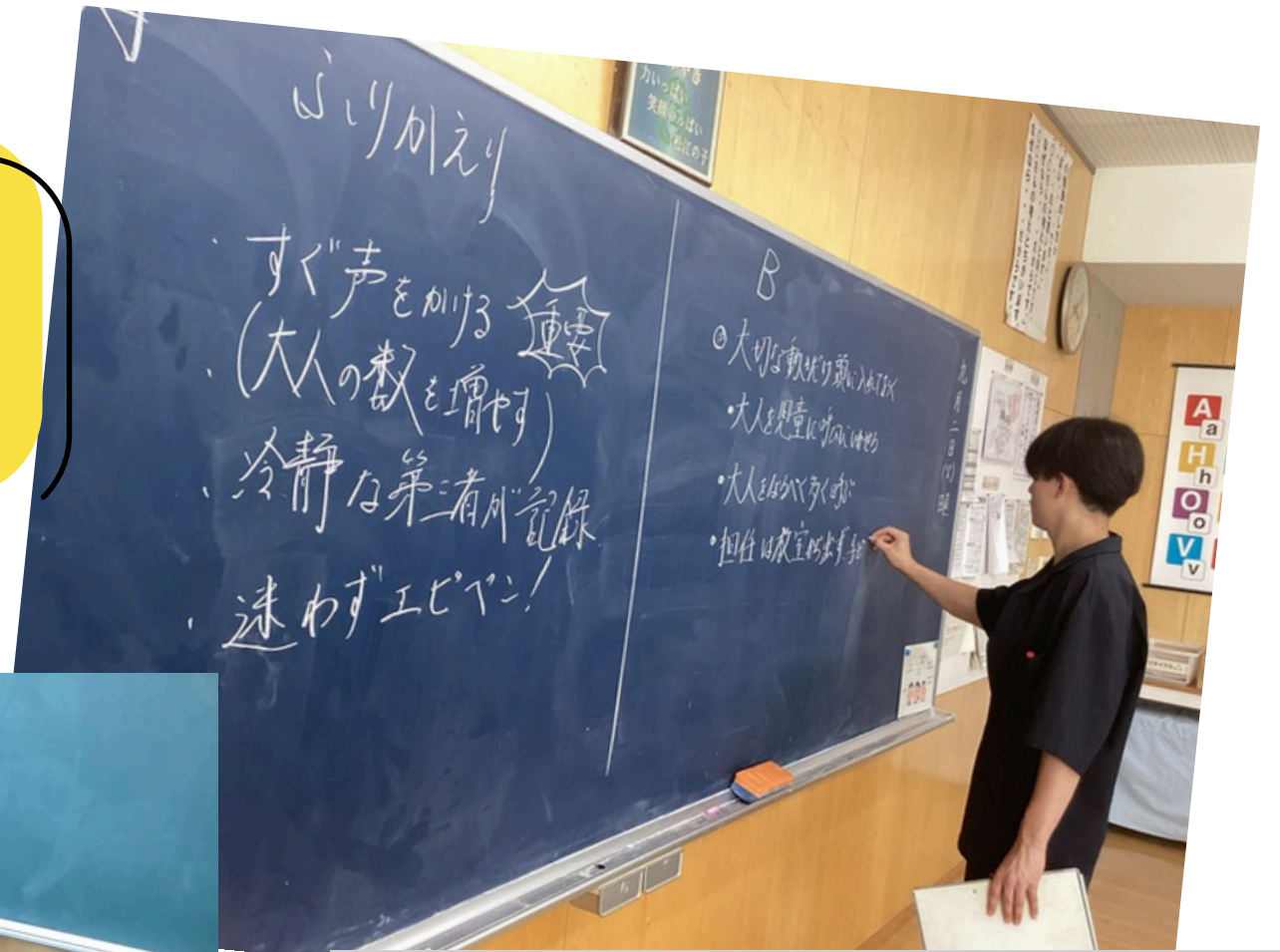
気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針
35°C以上	31以上	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31~35°C	28~31	厳重警戒 激しい運動は中止 熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10~20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
28~31°C	25~28	警戒 積極的に休憩 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24~28°C	21~25	注意 積極的に水分補給 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24°C未満	21未満	ほぼ安全 適宜水分補給 通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市営マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するに注意。

※暑さに弱い人、体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

★ **暑さ指数に応じた  
活動制限**

★ **水分補給の徹底**

# 教職員研修



### エンカレッジルームの活用について

- 1 ねらい
  - ・学校とのつながりを保てる場とする。
  - ・学習の保障をする。
  - ・児童が社会的自立に向け、自分で選択し学習できるようにする。
- 2 場所
  - ・ランチルームの給食側に衝立をつくり、学習をする。  
(教員の目が届く、声掛けがしやすいため)
  - ・トイレは玄関横の多目的トイレを使用。(所在確認のため)
- 3 方法  
(児童)
  - ・1日の計画を立てる。
  - ・振り返りを記入する。
  - ・保護者に記録を見せ、サインをもらう。  
(担任)
  - ・エンカレッジルームを利用する児童の保護者と連携し、利用許可をとる。
  - ・該当児童の担任は週案をファイルに入れ、テストなどの教材を用意する。
  - ・記録の決済を行う。  
(エンカレッジサポーター)
  - ・週案を見て、1日の予定を児童に伝え、児童に1日の計画を立てさせる。
  - ・児童の様子を記録し、児童、担任へ渡す。
  - ・児童の記録をファイルにはさむ。



## 心の健康

### 教育相談の実施

相談しやすい環境づくり

別室での学習支援  
(エンカレッジサポーター)

SC、SSWとの連携

名前 \_\_\_\_\_

月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_

\*まず1日の計画を立てましょう。

校時	学習内容	◎○△
1		
2		
中休み		
3		
4		
給食		
5		
6		

エンカレッジサポーターから \_\_\_\_\_

サイン

保護者	担任	コーディネーター	副校長	校長